

授業概要

国際観光論を学ぶ目的は、観光産業が持つ多様な側面とその影響を深く理解し、グローバルな視点での分析能力を養うことである。観光産業は、経済、文化、社会、環境などさまざまな面で重要な役割を果たしており、特に国際的な観光の発展は世界各国の経済に大きな影響を与えている。また、観光地の経済的利益だけでなく、観光が地域社会や文化に与える影響も考察する。観光は多国籍な交流を促進し、異なる文化理解を深めるための重要な手段でもある。本講義を通じて、国際的な観光業界の現状や課題、今後の展望について学び、国際的な視野で持続可能な観光開発や地域振興策を検討する力を養う。さらに、観光業は、観光客のニーズやトレンドの変化に柔軟に対応する必要があるため、マーケティング、サービス、ホスピタリティ等のビジネススキルを学ぶこともできる。

授業計画

第1回	イントロダクションと国際観光の基本概念★国際観光の定義と重要性★観光業の構造と経済的影響★世界の観光市場のトレンド★国際観光業の重要性と国際経済における役割
第2回	国際観光の発展★世界の観光市場の歴史と発展★近代観光の発展（鉄道、航空機、インターネット）★観光業のグローバル化
第3回	観光業の国際的な競争★世界各国の観光業の競争力★観光業における競争優位性★競争戦略と市場ポジショニング
第4回	国際観光の経済的側面★観光業の経済効果（GDP、雇用、インフラ）★観光産業の構造（航空、宿泊、交通、飲食など）★観光消費のパターン★観光収入と雇用の関連
第5回	国際観光の文化的側面★異文化理解と観光★観光が文化に与える影響（文化遺産の保存と破壊）★文化交流としての観光
第6回	観光資源と観光地開発★自然資源、文化資源、歴史資源の定義★観光地の開発プロセス★持続可能な観光地開発の重要性★文化遺産としての観光地の価値★観光と遺産の保護のバランス★世界遺産の保護と観光業の関係
第7回	国際観光と環境問題★観光の環境への影響（環境破壊、エネルギー消費など）★環境に優しい観光（エコツーリズム、グリーンツーリズム）★環境に配慮した観光開発★持続可能な観光業の実現に向けた取り組み
第8回	国際観光の顧客行動★観光客の動機と行動パターン★顧客満足度とサービス品質★観光客の期待と実際の経験のギャップ
第9回	国際観光と倫理★観光業における倫理的問題とは★文化的差異と観光業の倫理★地元住民と観光者の関係性★観光における人権問題（労働、住民の権利など）
第10回	国際観光と倫理的ジレンマ★観光地における倫理的ジレンマ（例：商業化と文化的価値の衝突）★観光業における利益と倫理のバランス★観光者としての責任と行動
第11回	国際観光業におけるリスクマネジメント★自然災害、政治的危機、テロリズムの影響★観光業における安全問題★観光業の危機管理とリスク管理戦略★危機後の観光業回復のプロセス
第12回	国際観光政策と政府の役割★政府の観光政策と戦略★観光の規制と管理
第13回	国際観光政策と国際関係★各国の観光政策★観光促進活動（観光大使、観光キャンペーンなど）★国際観光政策と国際機関（UNWTO など）★観光政策の実例（日本の観光振興策、各国の観光戦略）
第14回	国際観光業の未来と新たなトレンド★テクノロジーの影響（AI、VR、AR など）★持続可能性やエコ意識を反映した新しい観光形態（サステナブルツーリズム、体験型観光）★インバウンド・アウトバウンド観光の動向★ポストコロナ時代の観光業★観光業の未来予測
第15回	総まとめとプレゼンテーション
第16回	期末試験

到達目標

本講義の目標は、学生がグローバルな視点で観光産業を理解し、国際的な観光の動向、課題、そしてその解決策を考える能力を養うことである。観光の経済的、社会的、文化的側面を深く学び、異なる国々の観光政策や観光業の運営方法について理解を深められる。これらの到達目標を達成することで、学生は国際観光の専門家として、観光業界での幅広い課題に対して実践的かつ理論的な解決策を提供できる能力を身につけることができる。

履修上の注意

学生と講師によるディスカッションを本講義では大切にしたいと考えている。

予習・復習

★事後学習として、授業で取り上げるケーススタディに関する課題レポートを課す。

評価方法

1) 期末試験(50%) 2) プレゼンテーション(30%) 3) リアクションペーパー(20%)

テキスト

初回に指示する。